

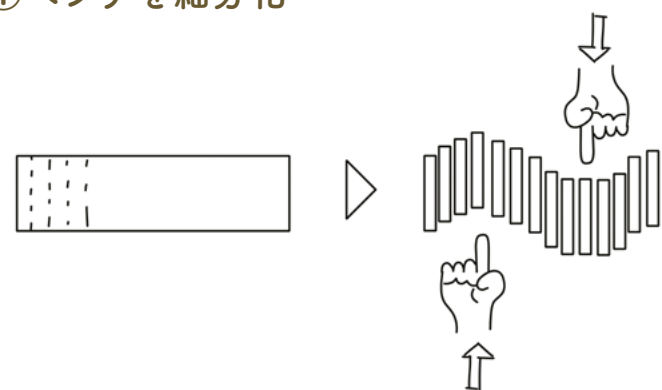
重さでつながるベンチ



働き方の自由化により、オフィスは交流を中心とした仕事場へ変化している。
これからのオフィスに必要なのは、どのようにその場を共有するか、である。
今回提案するチェアでは、重さと身体感覚によって場を共有していることを
体感し、人と結びついていることを感じるができる。

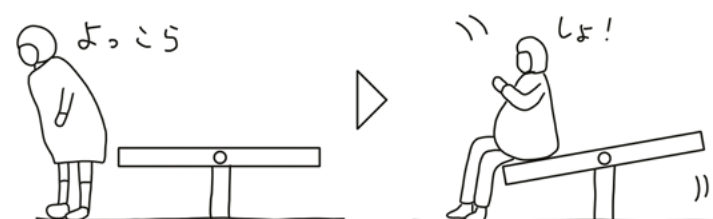
ダイアグラム

①ベンチを細分化



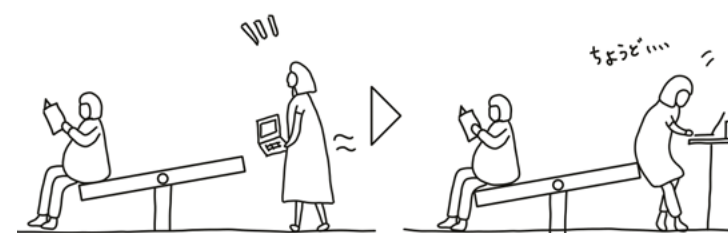
ベンチの座面を短冊状に細分化する。
細分化された座面は上下方向へ動く。

②座ると沈む



細分化されたベンチへ座ると、人が座った部分が押されて沈む。

③反対は持ち上がる



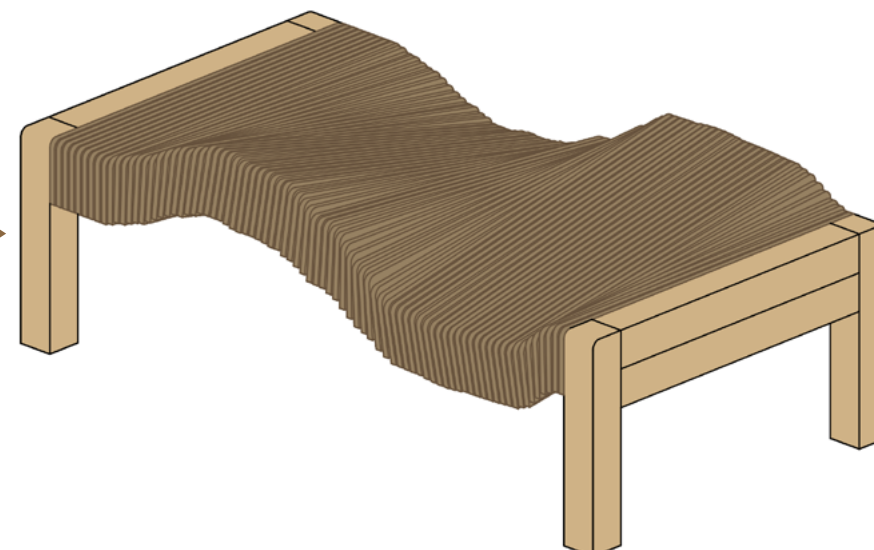
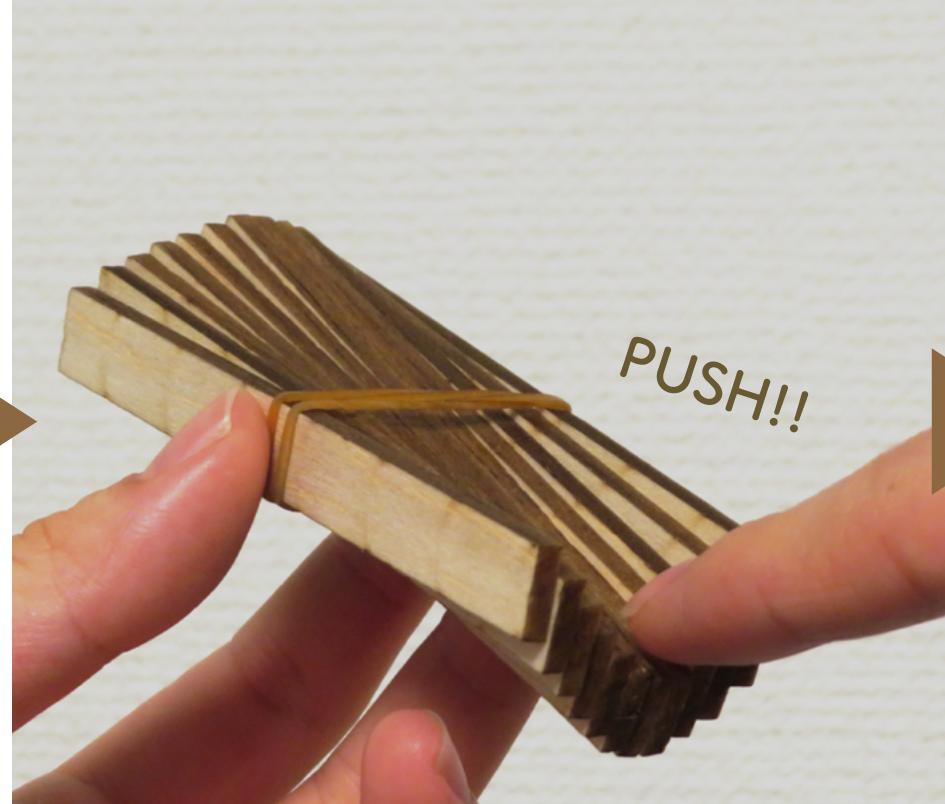
人が座った反対側は座面が持ち上がり、腰掛けや肘置きに使われる。

④他の場所に波が伝わる



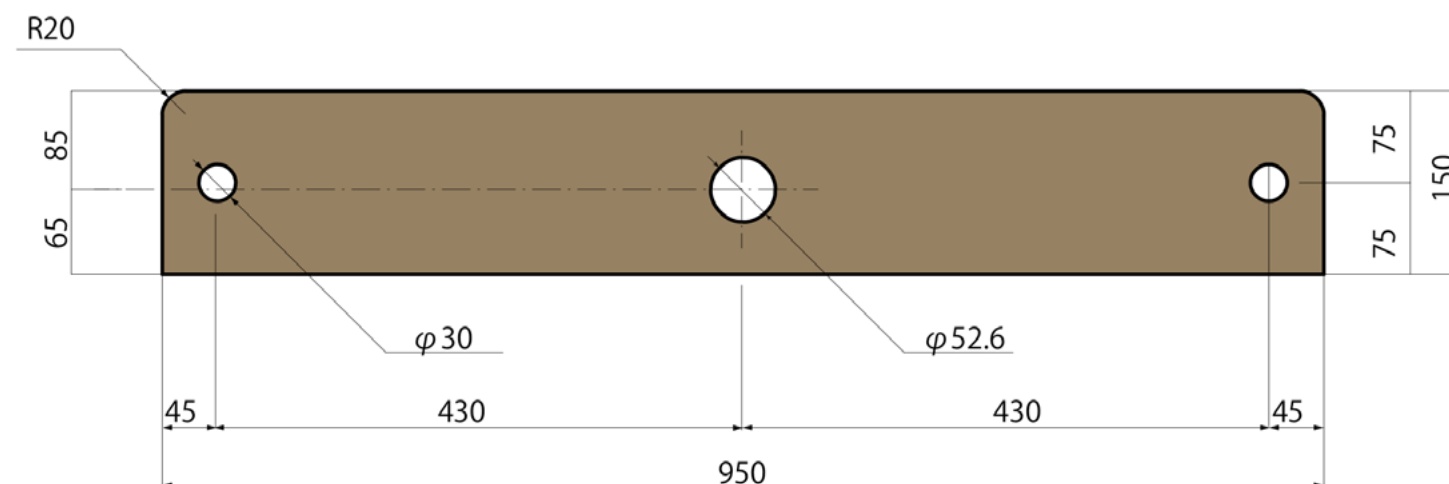
座ると他者へ影響を与える。
座ることが他者と繋がるきっかけになる。

WAVE ダイアグラム



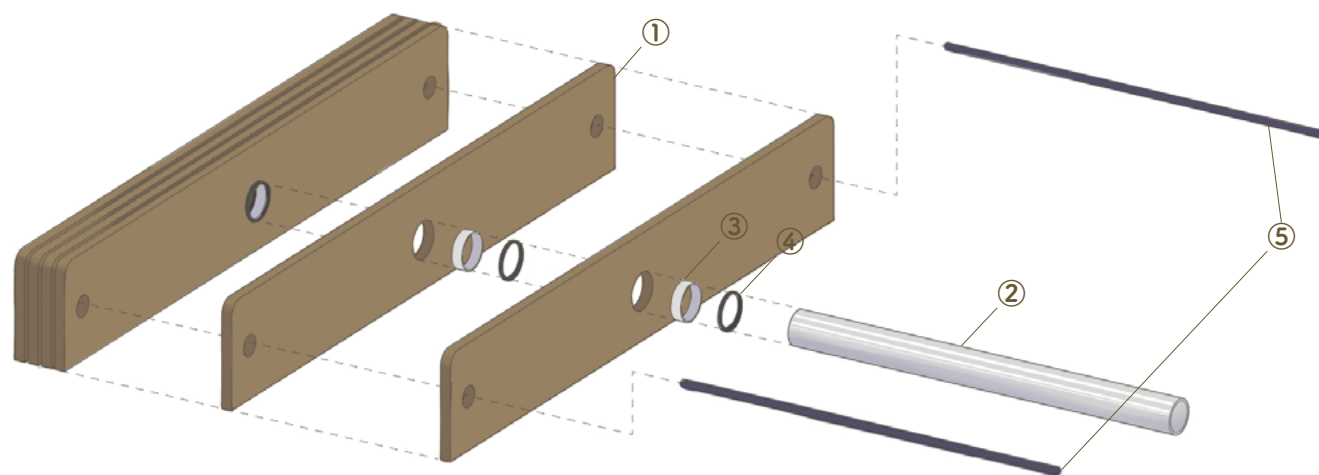
座面を結ぶゴム紐によってそれぞれの座面が上下する

木材カット



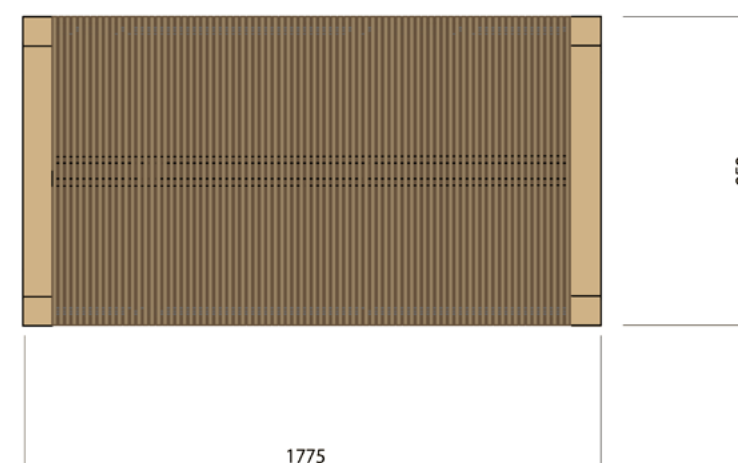
木材リストの1900×150×15の木材40枚を半分にカット。その後上図のようにカットする。

組み立て図

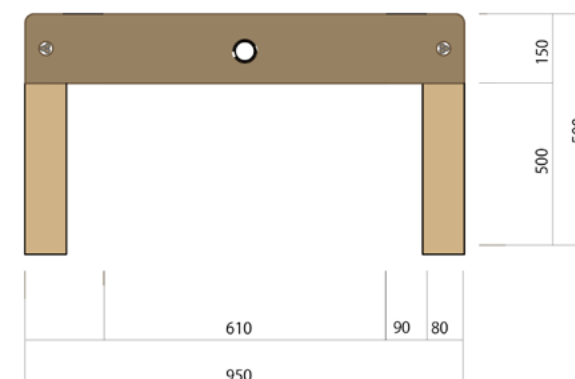


①カット木材（950×150×t20） ②スチール丸パイプ（φ48.6×t3.5） ③ABS補助部材（φ52.6×t2）
④ABSスペーサー（φ52.6×t2） ⑤EPDMゴム（φ8）

平面図



側面図



正面図



アイソメ図

